

LTspice ユーザーの集い 2017 参加報告書

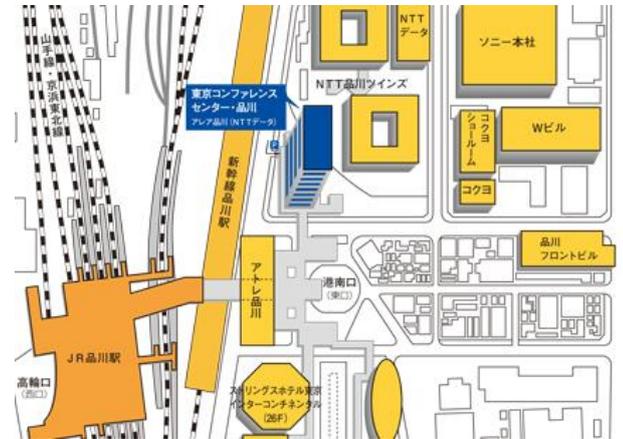
群馬大学大学院 理工学府 電子情報・数理教育プログラム 修士1年 井田貴士

日時：2017年4月21日(金) 13:00~17:30

会場：東京コンファレンスセンター・品川 5F 大ホール

主催：LTspice Users Club

後援：アナログ・デバイセズ株式会社



今回、回路の研究を行う上で普段使用している LTspice の講演会が開催され、参加する機会を頂いたので、報告いたします。会場である東京コンファレンスセンターは名前のとおり大きな会議所でもとても綺麗であった。また今回の講演会の参加者はほとんどが社会人の方々であり、学生での参加は自分たちのグループだけなのでは？と思った。



講演会のあった大ホール(※会場内は写真撮影が禁止であったため HP から引用)



会場の受付エントランス

講演会は以下の4つのセッションに分かれていた。

事例紹介

「LTspice、Octave、myDAQを用いた電気電子回路演習の取り組み」

京都大学工学部 准教授

久門 尚史 氏

- ・ここでは京都大学で行っている電気電子関係のカリキュラムについての紹介、特に電気電子回路演習という講義について紹介していた。他大学のカリキュラムは普段余り意識したことがなかったので大変興味深かった。京都大学では一年生のときから様々なシミュレーションソフトに触れ、実際に自分たちでシミュレーション上で回路を設計し動作を確認するなどを行っており、そちらの方が回路に対する理解が深まると感じた。また電気電子回路演習の講義での後半で行われている発展課題として、グループで個々に課題を設定し、取り組み、最後にポスター発表するという自立性を持って行う授業というものは大変面白いものだった。

「電気系技術者キャリア形成における LTspice 活用事例」

キャノン株式会社

ヒューマンリレーションズ推進センター

青木 正 氏

- ・企業での LTspice の活用方法を発表していた。Canon では電気系技術研修の一環として LTspice を用いているということだった。研修の内容的には大学レベルで理解が可能なものであったのでアナログ回路について学んだことがない人向けの研修で、まずシミュレーションでアナログ回路について学ぶというのは大変効率の良い研修と感じた。

「Diode の逆バイアス時の静電容量特性」

株式会社三共社特別顧問

渋谷 道雄 氏

- ・この方は普段、自分が LTspice を使うときに参考にさせていただいている本の著者の方でシミュレーションの高効率化について説明をしていた。その中で普段シミュレーションを行ううえで参考となるものが多かったので今後の研究にいかしていきたいと思った。

「What's new in LTspice XVII」

米国アナログ・デバイセズ社

マイケル・エンゲルハート 氏

- ・LTspice の開発者の講演であった。去年リリースされた LTspice XVII の説明がメインであった。従来の LTspice で不便だと意見があった部分が改善され、LTspice の新しく備わった機能はユーザー目線で作られており、またユニークな仕掛けなどを組み込んでいて面白いと思った。(Toolbar icon size の “huge” を “yuge” にしてある。アメリカの一部の人は “ヒュージ” を “ユージ” と発音していることからこのように変えているということだった。)